

一般質問の概要

平成26年第3回 二宮町議会定例会

9月18日（木）午前9時30分～

※2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

No	質問予定議員	質問概要
1	桑原英俊 議員	安全安心なまちづくりに必要な防犯カメラについて問う （放映件名：安全安心なまちづくりに必要な防犯カメラ） 犯罪件数ゼロを目標に、明るく、健全な町を創ることが私達の責任です。危険な犯罪から子ども達を守るための犯罪予防や犯人逮捕に結びつく環境づくりが必要です。 二宮町も例外ではなく、二宮駅北口から遠くない場所での痴漢未遂事件等が多数発生しております。全国的にコンビニエンスストアの防犯カメラがきっかけで、警察と連携して犯人逮捕に直接に結びついております。防犯カメラは犯罪予防のためになくはないもので、犯罪発生後の犯人特定について、民間設置の防犯カメラが利用されていることが多く、一部には報道機関等により画像が公開されています。これらにより、犯罪者の逮捕に結びつく事も多く、町民の防犯カメラに対する関心が高まっています。 現在、二宮町では防犯カメラを数台しか設置されていないのが実態であり、他の市町村からしてみれば、まだまだ数の上では足りません。 当町は全国的には犯罪件数は少ないとはいえ犯罪予防の観点から防犯カメラが即、必要です。 二宮町の安全・安心な町づくりのためには、カメラの利用は防犯・防災の両方に使用しても成り立つと考えます。今回の質問を通じて現在の利用状況と、今後の在り方を聞きだすことで、町民にとって町が行う安全・安心な町づくりを明らかにしていき、防犯・防災を予防するための環境づくりが必要だと思えます。そのために街頭防犯カメラを早急に増設するべきだと考えますが町の対応を伺います。 要旨1. 安全安心な町づくりに防犯カメラの活用をどのようにされているのか、また、犯罪を予防するための環境づくりが必要だと考えますが、現状の町の対策をお伺いします。 要旨2. 通学路における児童・生徒の防犯対策について伺います。 要旨3. 防犯カメラの活用にはプライバシーや個人情報の取り扱いには十分留意することが必要であり、個人の尊重を侵害することなくルールをつくり、運用することが必要であると思えますが、町の考え方を伺います。

2	二見泰弘 議員	子ども・子育て支援制度（認定子ども園）の問題について問う （放映件名：子ども・子育て支援新制度の問題について） 要旨 1、幼児教育の重要性の認識はあるか 二宮町における幼児教育の重要性への認識はいかがでしょうか。 また、私立幼稚園を含め、これまで幼児教育の推進のため、どのような取り組みをしてきたか伺います。 要旨 2、子ども・子育て会議について 新制度では、子ども・子育て支援に関して調査審議するため、子ども・子育て会議の設置に努めることとされており、新制度の目的を踏まえれば、保育はもとより幼児教育や子育て支援の観点を持った方々の参画を得ることが必須と考えられるが、子ども・子育て会議の進捗状況と、委員選出構成はどのようになっているか伺います。 要旨 3、就園奨励費事業について 新制度では、現行の就園奨励費等を考慮して設定される幼稚園等の保育料の水準をもとに、保育料が定められることとなっているため、こうした取り組みを進めることは、新制度の円滑な施行のためにも重要と考えますが、二宮町の取り組み状況はいかがですか伺います。 要旨 4、私立幼稚園の新制度への移行状況は 新制度では、認定こども園への移行を希望する幼稚園等があれば、認可・認定基準を満たす限り、都道府県が特例を設け、認可・認定を行えるようにする仕組みが設けられていると聞いていますが、二宮町での移行状況を伺います。 要旨 5、保護者等への周知は 二宮町の新制度への取り組み等について、住民・保護者等への周知・説明はどのように行っていく予定になっていますか伺います。
3	三橋智子 議員	豊かな老後のために、日常生活を健康に過ごせる「健康寿命」を伸ばすための施策を問う （放映件名：豊かな老後のために健康寿命を延ばす施策を） 8月1日に厚生労働省は2014年度版の白書を公表した。その中では高齢化の進展をふまえ、介護を受けずに日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」と平均寿命との差を縮めていくことが重要だと指摘している。生活習慣病予防の施策は健診や保健指導などですでに取り組んでいるところではあるが、さらに現役時代からの食生活や運動習慣の改善、そして若年世代への健康に対する意識付けが重要になると強調している。 それをふまえ神奈川県は今年度、生活スタイルの見直しのきっかけとして、東洋医学の視点から健康づくりを手助けする「未病チェックシート」を作成し、県民に広く活用を呼び掛けている。 二宮町としても、町民の健康寿命を延ばすための施策を、新たな視点から取り組んでいく必要があると感じ、以下6項目の質問をする。 ① 健康寿命日本1を目指す県との連携について ② 国保データベース導入の進捗状況について ③ 町民の病の傾向性に即した対策について ④ 特定健診やがん検診など受診率向上の対策について ⑤ 医療費や介護費の将来予測とその対策について ⑥ 介護予防の効果を求めるボランティア活動を「ポイント制」として導入する施策についての見解

4	神 保 順 子 議 員	町のエネルギー政策について （放映件名：町のエネルギー施策について問う） 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の直後に起こった東京電力第一原子力発電所事故の発生から約 3 年半が経過しました。この事故をきっかけとして国民また町民の多くは省エネ・節電に対する意識が高まりました。そこで次の質問をします。 要旨〔1〕平成 21 年度より 4 年間続けてきた住宅用太陽光発電システム設置費補助金制度だが、25 年度からは単独での補助制度を廃止し、住宅リフォーム助成事業に統合されました。4 年間の実績と成果について伺います。 要旨〔2〕平成 23 年度では町広報を活用し、町民への節電を啓発する一方で、公共施設の節電にも町は取り組んできました。庁舎および公共施設全体での節電にたいする実績と成果について伺います。 要旨〔3〕平成 24 年度に策定された二宮町第 2 次環境基本計画の中から次の 2 点について伺います。 ①「第 4 章施策の展開」のなかに位置づけられている「基本施策の自然エネルギーの活用」に対する進捗状況と今後の取組みについて伺います。 ②「第 5 章計画の推進方策」のなかに位置づけられている「町民・事業者・町による計画推進」の運動づくりについて、現在の取組みを伺います。
---	----------------	---